

様式第 6 号 (第 14 条関係)

会 議 録

会 議 名	平成 30 年度 第 1 回粕屋町保健事業計画推進協議会	
開 催 日 時	平成 30 年 6 月 28 日 19 時 00 分～20 時 15 分まで	
開 催 場 所	健康センター 1 階多目的室	
出席者 氏名	委 員	粕屋医師会：松尾先生、粕屋歯科医師会：山下先生、粕屋保健福祉事務所：柴田保健監、スポーツ推進員：土居氏、PTA：祝部氏、食進会：安本氏、保健師：川崎氏(渡辺氏代理)、会長：案浦氏
	職員・職氏名	吉武副町長、古賀課長、石川主幹、加治、松本
欠席委員(者)氏名	なし	
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 全部非公開	
会議を公開しない理由		
傍聴人の数	0 人	
会議資料の名称	平成 30 年度 第 1 回粕屋町保健事業計画推進協議会資料	

審議会等の内容

会議概要

委嘱書の交付、自己紹介、会長・副会長の選出の後、議事において健康かすや 21 についてと平成 30 年度の活動計画について計画の報告を行った。また、今年度は健康かすや 21 の中間評価の年となっており、推進協議会において計画策定のご意見を伺う旨を含め今後のスケジュールについて報告を行った。

質疑応答・意見

質疑応答 (計画から分野 1)

松尾副会長：個別健診は県内の医療機関はどこでも受診できるのか？

石川主幹：福岡県医師会と集合契約しているため受診可能。

松尾副会長：特定健診、がん検診ともに個別健診をもっと周知したほうがいい。

石川主幹：4 月の国民健康保険加入者へのパンフレットにも記入している。

松尾副会長：平成 29 年度の特定健診率はなぜ下がったのか？原因は？

石川主幹：横ばい傾向にある。今年度は、国保連合会の事業で、生活習慣病で受診中の国保加入者に対し特定健診に該当する検査をしていけば、特定健診を受けたとみなすといった事業が始まる。来年度の受診率は上がると想定できる。

柴田保健監：P4 の平成 29 年度の受診率を確認したい。受診者数/対象者数で計算すると 43%となるが？

石川主幹：43%と訂正する。平成 29 年度は暫定値であるが、39.5%程度と想定している。

柴田保健監：受診率をあげるためには、成功体験などを載せてはどうか？健診を受けない人は、特に症状がないため健診を受けないと思う。健診をうけてのメリットを伝える必要があるのでは？

石川主幹：今後の参考していく。

質疑応答 (分野 2 から分野 6)

松尾副会長：スマイル会の年齢層が高いが、ウォーキングする前の健康チェックはしてい

るのか？

加治主事：健康相談日に合わせて実施しているので血圧測定は実施している。血圧が高い人はウォーキングを遠慮していただくように声をかけている。

ウォーキングには、保健師が一人同行している。

柴田保健監：40～50歳代の人が、参加するには月1回は土日開催したほうがいいのでは？年に1回はイベントとしてウォーキング会をしてみても？

石川主幹：ラン&ウォークという社会教育課主催の会があり、そこで健康かすや21の周知をしている。参加者がかすやドームを利用している人が多く、高齢者や児童が多い状況。今年度のラン&ウォークは、40～50歳の人に個別通知してみる。

松尾副会長：医師会の健康相談会と合わせてウォーキング会をしたら集客率も見込めるのでは？必要なときは、手伝います。

柴田保健監：バラまつりとウォーキング会を抱き合わせて企画してみたらどうか。楽しくないと歩こうと思わないと思う。

柴田保健監：バラまつりは何名くらい参加するのか？

加治主事：昨年400名程度、今年は雨が降ったため300名程度の参加があった。

川崎保健師：介護福祉課の事業の一般介護予防教室の終了後の運動継続のためにウォーキング会を利用したいと思った。

土居委員：スポーツ推進委員が実施している体力テストも40～50歳代の若い人の呼び込みに頭を悩ませていた。何かのイベントと一緒にコラボしたら集客率もアップするのかもしれないと思った。

祝部委員：私も大池公園をランニングしているが夕方などは若い方がウォーキングをしている姿をよく見かける。

#### 今後の予定

平成30年11月ごろに第二回の粕屋町保健事業計画推進協議会を開催予定。